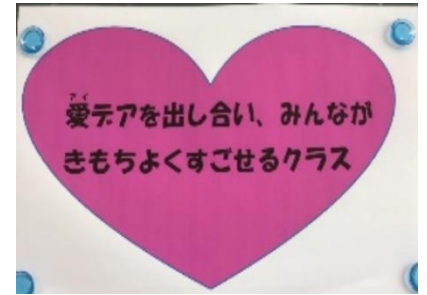


大分教育事務所訪問 14

臼杵市立海辺小学校から学ぶ

学校の教育目標「ことばや思いをつなぎ合う児童」を育成するために、学校として育成を目指す資質・能力を「言語能力」とし、言葉の力を教科横断的につけようとしています。また、教職員は ①にこにこあいさつ ②時間厳守 ③整理と整頓の3点を率先垂範、凡事徹底を合い言葉に取り組んでいます！



学校経営から学ぶ

目標がとてもシンプルだからこそ、教職員だけでなく保護者や地域にもわかりやすいので協働がやりやすくなります。また、目標が明確だから取組も焦点化されるので、毎月、主要主任を中心にそれぞれの取組指標に対する ①取組状況②達成状況③検証④改善策の策定（継続、廃止、発展）を確認しています。（4、5月の成果も明確でした）そのため、次への取組が発展的になるだけでなく、教職員も子どもも成長を共有できマナー化を避けることとなります。今後は、各達成状況を資質・能力で検証してみると、より「めざす子ども像」につながると思いました。

また、働き方改革もまず、改革の目的を明確にし、現状から目標を設定し、具体的な「10の取組」を設定しています。このように、時間の短縮だけの改革でなく、目的と手段が明確な働き方改革は他の範です。

授業から学ぶ

どの教室でも学び合いが行われており、思いをつなぐ実践を見ることができました。特に、5年生の書写の授業では、「しんじょう」の位置を個々でタブレットに書き、大画面で共有することでどの位置が良いかを皆で確認し、実際に毛筆で書くというICTの有効活用を学ぶことができました。また、2年生の国語では、すぐに班で学び合うのではなく、資料の活用をタイミング良く指示をしていたので、個人で探求する時間がとても有効でした。

指導案の「ふりかえり」も子どもの言葉で書かれており、今後とも、子ども達がどのような事を書くのかどんな姿になつたら良いのか等、主語を子どもにしたゴールの姿をイメージすることで、より「めあて」との連動や、評価規準がより明確になると思いました。



NO.85 2021年6月 臼杵市立海辺小学校

伝え合う力

教科書など根拠をもって説明するから、相手もよく理解できる。



NO.87 2021年6月 臼杵市立海辺小学校

読み取る力

考えたことがある。伝えたいことがある。だから、資料を読み、根拠を示す。



NO.84 2021年6月 臼杵市立海辺小学校

机をみると

全員が整理と整頓ができています。意識が高く、助け合う、安心・安全な学級でしょうね。



NO.86 2021年6月 臼杵市立海辺小学校

認め合えるから

それぞれの良さを認め合えるから、一番良いものを選ぶことができる。